

令和元年度 政務活動費支出伝票(一般)

会派名 公明党函館市議団

伝票番号 19

代表者	経理責任者	支出年月日	区 分
		令和元年11月19日	調査研究費
支払先 株式会社時事通信社			支払金額 ¥64,800
摘要 (品名)	数量	単価	金額
JAMP(時事行財政情報 モニタ) 7月分	2	10,800	21,600
JAMP(時事行財政情報 モニタ) 8月分	2	10,800	21,600
JAMP(時事行財政情報 モニタ) 9月分	2	10,800	21,600

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと(重ならないよう留意)



【領収書等貼付欄】

参考様式第1号

令和元年度 政務活動費支出伝票(一般)

会派名 公明党函館市議団

伝票番号 20

代表者	経理責任者	支出年月日	区 分	
		令和元年11月25日	事務費	
支払先 富士ゼロックス北海道株式会社			支払金額	
			¥5,672	
摘要 (品名)		数量	単価	金額
カウンター料金代(10月分)		1	5,672	5,672



領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと(重ならないよう留意)

【領収書等貼付欄】

令和元年度 政務活動費支出伝票(一般)

会派名 公明党函館市議団

伝票番号 21

代表者	経理責任者	支出年月日	区 分	
		令和元年11月27日	事務費	
支払先 日立キャピタルNBL株式会社				支払金額 ¥16,524
摘要 (品名)		数量	単価	金額
ゼロックス複写機リース料(11月分)		1	16,524	16,524

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと(重ならないよう留意)

【領収書等貼付欄】

領収証

領収証No.20191206-00236
2019年12月06日 発行

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。
下記金額を正に領収いたしました。

お客様名 公明党函館市議団 御中

お問合せ番号

ご契約者名 公明党函館市議団 御中

日立キヤピタルNB
作成場所：東京都港区新橋1-3-1

領収金額	領収日
16524 円	2019年11月27日

振替 (又はお振込) 金融機関	
金融機関名	振替 (又はお振込) 金融機関
支店番号	
口座番号	
名義	日立キヤピタルNB
	〒106-8501 東京都港区新橋1-3-1

※お客様の情報保護のため、口座番号の一部を表示しておりません。

No	ご契約年月	ご契約番号	代表物件	当回数	残回数	領収金額(税込)円	明細	
							リース料 (又は賦払金)	事務手数料
1	2018年08月		複合機(カラー)	16	44	16524	15300	0
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
合計						16524 円	15300 円	0 円

【お知らせ】 ご不明な点がございましたら、誠に恐れ入りますが表裏のお問合せ先までご連絡を頂きますようお願い申し上げます。




※金額を訂正したものは無効とします。
※再発行は致しません。

印紙税申告納
付につきま
税務署承認済

令和元年度 政務活動支出伝票 (旅費)

会派名 公明党函館市議団

伝票番号 22

旅行承認年月日		代表者	経理担当者	支払年月日		区分
令和元年11月29日				令和元年 11月29日		・調査研究費 研修費
No.	氏名	金額		受領印	受領年月日	
1	松宮健治	27,710			令和元年11月29日	
2						
3						
4						
支払合計金額			27,710円		_____	
<p>◇旅行の目的 ・全国一斉PPPセミナー／第15回公民連携Dチャンネル／「地域の編集力を高めよう」に参加するため</p>						
◇用務地 大和リース株式会社札幌支店 (札幌市)						
旅行の日程			旅費の内訳 (1人当たり)			
11/29	函館市～札幌市		路線バス, 私鉄			
11/30	札幌市～函館市		J R	16,200円		
			航空賃			
			日当	6,000円		
			宿泊費	5,510円		
			参加費	無料		
			その他/パック			
			合計	27,710円		

◇研修会，意見交換会，報告会等の会議（開催・参加）の概要

区 分	内 容	
会議等の名称	・全国一斉PPPセミナー／第15回公民連携Dチャンネル「地域の編集力を高めよう」～地域の魅力を発見し，磨き，発信する～	
会議等の目的	・これまでの成長と発展を前提とした社会から，「縮充」へと向かう社会への転換が求められている今，まちづくりも行政だけではなく，市民や地域社会と共々に主体性をもって取り組むが必要であり，地域の価値を発見し，磨き，発信するための「編集力」を高めるための方策を学ぶ。	
日 時	令和元年11月29日（金）13：00～17：00	
場 所	・大和リース株式会社サッポロ支店（札幌市東区北42条東17丁目6番12号）	
出席者	出席議員氏名	松 宮 健 治
	講師等の氏名	藤原 明 氏（りそな総合研究所・リナルビジネス部長）他
	その他参加者	6 名
支 出 内 訳		金 額
旅 費	27,710円 × 1	27,710円
参加費	無 料	0円
合 計		27,710円

出張報告書

令和元年12月2日

公明党函館市議団

代表 松宮健治 様

出張者氏名 松宮健治



下記のとおり出張したので報告いたします。

記

1 出張期間	令和元年11月29日(金)～30日(土) (2日間)
2 用務地	① 11月29日 函館市 ⇄ 札幌市
	② 11月30日 札幌市 ⇄ 函館市
	③
	④
	⑤
3 出張概要	全国一斉PPPセミナー／第15回公民連携Dチャンネル 「地域の編集力を高めよう」 ～地域の魅力を発見し、磨き、発進する～ ・日時 令和元年11月29日(金) 13:00～17:00 ・会場 大和リース株式会社札幌支店 ・内容 これまでの成長と発展を前提とした社会から、「縮充」へと向かう社会への転換が求められており、まちづくりも行政が市民や地域と一体となって共に主体性をもって取り組むことが必要であり、地域の価値を発信する「編集力」を高めるための方策を学ぶよい機会となるセミナーである。
4 所見	・別紙の通り
備考	

□ 第1部 3人のパネリストによる講演

- ① 藤原 明 氏（りそな総合研究所／リーナルビジネス部長）
- ② 大垣 弥生 氏（奈良県 生駒市／いこまの魅力創造課／課長補佐）
- ③ 湯川 カナ 氏（リベルタ学舎代表，兵庫県広報官）

□ 第2部 パネルディスカッション

「地域を元気にする編集力の高め方」をテーマに，講師3人によるパネルディスカッション

□ 実例講演① 「REENALはじまりのはじまりをいっしょにつくる」

藤原 明 氏（りそな総合研究所／リーナルビジネス部長）

公民連携の手法として，さまざまな視点からたくさんの知恵と示唆をいただいた。特に藤原部長の主張のキーワードは「協働」「強み」「やるべきこと」の明確化である。

実例としての「河南町立白木小学校統合に伴う跡地利用検討まちづくり意見交換会」の取り組みの内容はかなり具体的であり，本市においても学校跡地はもとより，市の公共施設等の統廃合に伴うまちづくりのお手本となると思われる。

本市においても，行政と市民と地域の連携・協働によるまちづくりの取り組みこそ，今求められているものではないだろうか。

□ 実例講演② 「ハートを動かすプロモーション」

大垣 弥生 氏（奈良県 生駒市／いこまの魅力創造課／課長補佐）

大垣氏は，百貨店勤務の後，大阪市のベッタタウンである生駒市役所に入り，主に広報担当で生駒市の魅力をさまざまに発信してきた方である。

「シティプロモーションとは，まちが発展し続ける仕組みづくり」であり，「市民と行政が汗をかかない自治体は崩壊する」との主張は目から鱗である。

シティプロモーションについては，ともすれば行政と市民の手を煩わせることなく，安易に外部コンサルタントに任せてしまうことはないだろうか？ 同じお金をかけるなら，手間はかかるが，市民を巻き込んでの様々な取り組みの積み重ねが大切であることを学ぶことができた。

生駒市役所の職員が市民とともに愛する生駒市を日々つくっていることが実感できた。本市においても出来ないことはないはずだ。

□ 実例講演③「よってたかって、やってみる！『参画と協働』の広報」

湯川 カナ 氏（一般社団法人リベルタ学舎代表理事，兵庫県広報官）

湯川氏は，自治体の存在意義は「地域住民の公共の福祉の向上」にあることを確認し，「広報」とは「公共」「関係」視点で，「自分と，自分を取り巻く世界との関係性を構築する，相互的・対話的なコミュニケーション」と定義された。そして，そこには「♡すなわち愛」が大切であるとも。

さらに，組織における「広報」とは，「組織の内部・外部に価値共有し，『共感者』『協力者』をつくることで，組織の経営を支援する」ことであると。

そして，自治体における広報は，行政と住民との「協働」が大切であると強調された。

□まとめ

第2部の上記3氏によるパネルディスカッションも，それまでの実例講演を踏まえて，いろいろと示唆に富む意見を伺うことができた。

改めて，3氏に共通するのは，行政の側だけで全て取り組むのではなく，手間はかかっても，自治体住民や地域社会との「協働」をキーワードに取り組むことの大切さである。

翻って，本市の場合，過去に「自治基本条例」制定の時には，市民協働の視点で取り組んだとは思われるが，最近はどうだろうか。確かに，パブリックコメントを通しての市民意見の聴取もやっていると思われるが，様々な事業の取り組みの過程で，市民や地域との協働が大切ではないだろうか。

今後，「協働」の視点を持って，本市の事業等についてチェックしていきたいと思う。

領 収 証 (RECEIPT) No A011908-01

(印 紙) 氏名 公明堂函館市議団 様

クレジットカードの場合
は不要

金額	億	千	百	十	万	千	百	十	円
					¥	1	6	2	00

ただし ① J R 券 2. 航空券 3. 宿泊券 4. レンタカー
5. 国内旅行パック 6. 海外旅行パック
7. 定期券 8. その他 ()

11/29 函館-札幌
11/30 札幌-函館

上記の金額領収致しました

2019年11月26日

(注) 金額を訂正したもの、取扱者印又はサインのないものは、無効でございます。

現 金	<input checked="" type="checkbox"/>	¥
クレジット	<input type="checkbox"/>	¥
カード	会社名	日専連 JCB VISA UC DC MASTER その他()
	旅行券	¥
銀行振込	<input type="checkbox"/>	¥
	<input type="checkbox"/>	¥

北海道旅客鉄道株式会社
Hokkaido Railway Company
〒060-8644 札幌市中央区北11条西5丁目1番1号
発行箇所 **五稜郭駅** 取扱者

領収書
RECEIPT

〒060-0806
北海道札幌市北区北六条西1-4-3

TEL 011-728-1045 FAX 011-728-1046
東横INN札幌駅北口

お名前 <u>公明党函館市議団</u> 様				
客室番号 (ROOM No.)	人数 (PERSONS)	ご到着 (ARRIVAL)	ご出発 (DEPARTURE)	備考 (REMARKS)
0610	1	19. 11. 29	19. 11. 30	
日付 (DATE)	摘要 (EXPLANATION)		料金 (CHARGE)	お支払 (PAYMENT)
11. 29	預り現金 宿泊料		5, 510	5, 510
	小計 (SUBTOTAL)		5, 510	5, 510
ご署名 SIGNATURE	収入印紙		ご請求額 AMOUNT DUE	0
会社名 FIRM			現金	

ありがとうございました。またのご利用をお待ち申し上げます。
Thank you for your stay with us.
May we have the pleasure of serving you again.

公式HP予約が最安値!! 最大¥400 OFF!!
オンラインカード決済で すいすいチェックイン!!
予約はこちら toyoko-inn.com



内消費税
INNER TAX 500 (税 10%)

C/O-No. 30200-1-01 19/11/30
C/O-CD 2

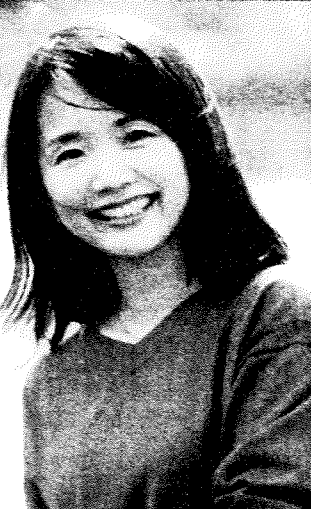
講師・パネリスト

生駒市いこまの魅力創造課 課長補佐

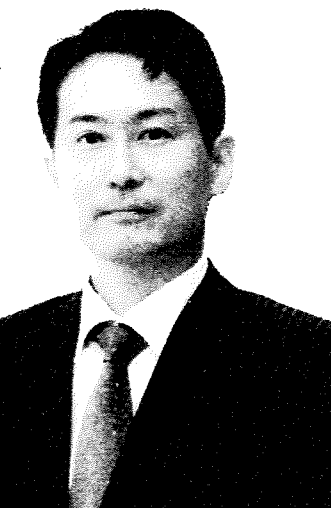
大垣 弥生氏

民間企業で10年間販売推進を担当後、2008年10月生駒市に入庁。多様な主体との協創によって、まちの魅力づくりとファンづくりを進める。2017年「地方公務員が本当にすごい」と思われる地方公務員アワード」を受賞。

大垣 弥生氏



藤原 明氏



講師・ファシリテーター

リソナ総合研究所
リーカルビジネス部長

藤原 明氏

「新しい銀行像を創る」ことを目指したREENAL (RESONA+REGIONAL)プロジェクトの600以上のケーススタディをベースに、REENAL式手法を確立。手法を活用した講義・講演・ワークショップを年間300回こなす。立命館大学大学院経営管理研究科客員教授

講師・パネリスト

リソナ学会代表・兵庫県広報官

湯川 カナ氏

立命館大学在学中に学生会長に就任後、2004年「地域創生」をテーマに、リソナ学会を立ち上げ、地域創生分野で活躍。その後、リソナ学会代表として、10年後に帰国。現在はリソナ学会の地域プラットフォーム「リソナラボ」を運営。

湯川 カナ氏



「地域の編集力を高めよう」 ～地域の魅力を発見し、磨き、発信する～

対象
自治体
職員
様

これまでの成長と発展を前提とした社会から、「縮充」へと向かう社会への転換が必要な今日、まちづくりも政治や行政が主導したものだけでなく、市民や地域が主体的に行動することが必要になっています。
地域に眠っている良いものを見出し、地域内外の人と人をつなぎ、地域の魅力や価値を発信する「編集力」を高めるための方策を学ぶ機会です。

日時

令和元年 **11月29日(金)** 13:00-17:00
(開場 12:30)

入場
無料

場所

大和リース株式会社 各支店・営業所

内容

第1部

3人のパネリストによる講演

講演後には質疑応答時間を設けます。

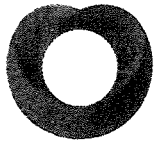
第2部

パネルディスカッション

「地域を元気にする編集力高めよう」をテーマに、講師3人によるディスカッションを行います。



WEB申し込みはこちら



Daiwa Lease
大和ハウスグループ

全国一斉PPPセミナー

第15回 公民連携Dチャンネル

Today's Program

Section 0 開催の挨拶

大和リース株式会社
取締役常務執行役員 浮穴 浩一

Section 1 後援者挨拶

13:03 国土交通省総合政策局 社会資本整備政策課
官民連携推進官 山下 庸介 氏

Section 2 実例講演

13:15 「REENALはじまりのはじまりをいっしょにつくる」
りそな総合研究所 リーナルビジネス部
部長 藤原 明 氏

Section 3 実例講演

14:05 「ハートを動かすプロモーション」
奈良県 生駒市 いこまの魅力創造課
課長補佐 大垣 弥生 氏

Section 4 実例講演

14:55 「よってたかって、やってみる！
『参画と協働』の広報」
一般社団法人 リベルタ学舎/兵庫県 広報官
代表理事 湯川 カナ 氏

Section 4 休憩

15:45

Section 5 パネルディスカッション

16:00 【パネリスト】
奈良県 生駒市 いこまの魅力創造課 大垣 弥生 氏
リベルタ学舎/兵庫県 広報官 湯川 カナ 氏

Section 6 閉会

17:00(予定) 【ファシリテーター】
りそな総合研究所 藤原 明 氏

本日の配布資料

- ・プログラム
- ・各講演者 講演資料
- ・Sli.do 説明資料
- ・公民連携サロン案内チラシ
- ・アンケート用紙

【主催】大和リース株式会社 【後援】国土交通省
【協力】九州PPPセンター